

# 畜産物利用

ウシの家畜化に先立ち、西アジアの肥沃な三日月地帯でヤギとヒツジの家畜化が行われたと考えられています。しかし、その時期については、様々な見解があり、紀元前10,000年から紀元前6,500年とかなり幅があります。これは、野生動物から現在の家畜まで連続している過程のどこに線を引くかという問題であり、厳密にこだわる必要はないのかもしれませんが、むしろ、どのような状況下で家畜化が生じたのかが大事であり、低湿地で始められた麦作が丘陵地に拡大した時期ということが注目されます。乳利用もヤギとヒツジから始められ、土器に付着していた有機物の分析により、紀元前7,000年紀との結果が報告されています。

ウシの家畜化の時期も様々な説がありますが、ヤギ・ヒツジの乳利用が始められてから、それほど遅くない時期と考えられています。北方系牛は西アジア、インド系の瘤牛（ゼブー）はインド亜大陸でそれぞれ独自に家畜化が行われました。

狩猟採集の時代には、動物性たんぱく質を得るためには生き物を殺す必要がありましたが、乳の利

用は、家畜を殺さずにすむことから、その資産価値を高めたに違いありません。体が大きなウシは乳を多く搾ることができ、また肉もたくさん得ることができることから、重要な家畜として世界各地に広がっていくことになります。

牛肉を取り上げた切手は、メキシコの80 センターボ切手が代表的なものです。畜産物利用の様子が描かれている切手の多くは、乳利用に関するものです。

図案は、手搾りでの搾乳、牛乳缶と共に描かれたウシ、畜産物を代表する家畜としてシンボリックに描かれた乳牛などが代表的なものです。1962年に東ドイツで発行された切手には、近代的な円形のミルクパーラーが描かれています。

興味深いものとしては、搾乳中の母牛に寄り添う子牛が描かれたトーゴの40CFA フラン切手があり



マルタ 1994年 14セント



東ドイツ 1962年 20ペニ



トーゴ 1974年 40CFA フラン

ます。実は、ウシは、実子以外の子牛が乳を吸っても乳がでないという生理的特徴を持っています。そこで、母牛の実子を連れていき、目の前に繋いだり、少し哺乳させたりしたところで人間が入れ替わるのです。このような方法を催乳といい、古くから行われてきた搾乳の技術です。ホルスタインなど現在の乳用牛から、すぐに乳を搾ることができるのは、品種改良の成果といえます。人間は、他の種の動物の乳を利用する唯一の動物ですが、その始まりは、試行錯誤の繰り返しだったに違いありません。

現在では、牛飼育の一番の目的は、畜産物の利用にあり、国連食糧農業機関（FAO）の2018年の統計では、世界中で15億頭を超えるウシが飼育されています。肉、乳、皮革や油脂などウシがもたらしてくれる畜産物は、私たちの生活を豊かにしてくれているのです。



ブルガリア 1959年 10 スティンキ



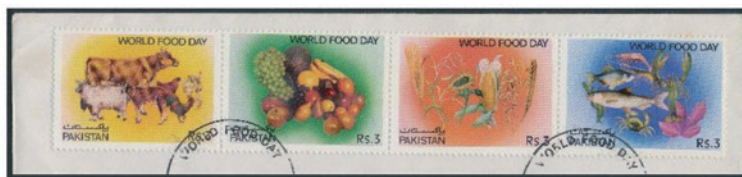
メキシコ 1979年 80 センターボ



## アジア地域



インド  
1982年 20<sup>ハ</sup> 枚×2、50<sup>ハ</sup> 枚×9



パキスタン 1983年 3<sup>ル</sup> - ×4



インド  
1989年 1.00<sup>ル</sup> -



中国  
1978年 8分



日本  
1964年 10円

## 大洋州地域



オーストラリア 1970年 6セント 初日加<sup>ハ</sup> - (FDC)



ニュージーランド 1998年 40セント×4

## 欧州地域



アイルランド<sup>ハ</sup>  
1994年 38<sup>ポ</sup>ント<sup>ハ</sup>



イギリス<sup>ハ</sup>  
1989年 32<sup>ポ</sup>ント<sup>ハ</sup>



ソ連<sup>ハ</sup>  
1933年 8<sup>コ</sup>ハ<sup>ハ</sup> 枚

## 中南米地域



イギリス領フォークランド<sup>ハ</sup> 諸島<sup>ハ</sup>  
1963年 1<sup>シ</sup>リング<sup>ハ</sup>





ソ連  
1962年 4コペック



ジャージー島  
1998年 無額面×4



ノルウェー  
2000年 4.00 クロネ



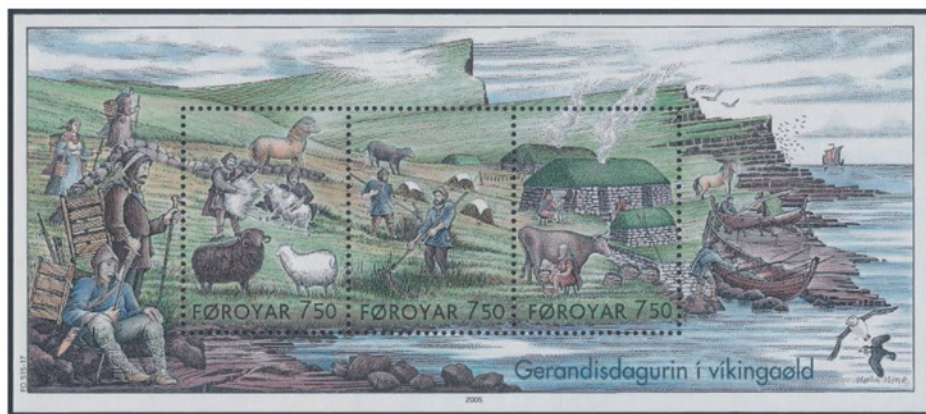
タンザニア  
1934年 5コペック



リヒテンシュタイン  
1997年 90 センティム



北イングリシア  
1920年 80ペンニ



フェロー諸島 2005年 7.50 クロナ×3 小型シート

## 中東地域



イスラエル  
1996年 4.65 シェケル



オマーン  
1988年 100 バディヤ×2

## アフリカ地域



エチオピア  
1978年 5 センチュム



エチオピア  
1989年 75 センチュム



ボツワナ  
1966年 25 テベ



モーリシャス  
1974年 60 セント



中央アフリカ  
1986年 60CFA フラン